

幹事会のページ

1996 年度第4 回幹事会報告

日 時：1996 年9月14 日（土）

会 場：学会事務局会議室

出席者：村上幸夫会長，小川英生，小棹理子，木村隆良，猿山靖夫，高橋克忠，辻 利秀，橋本寿正の各幹事事務局（山本直志）

主な議題と決定事項

1. 1996 年度第3 回日本熱測定学会幹事会議事録が一部修正承認された。
2. 会則にしたがって入退会者を承認した。
入会（正会員5 名，学生会員3 名）
退会（正会員3 名，学生会員1 名）
3. 協賛依頼に基づき，" 高圧力科学と技術に関する国際会議" の協賛を承認した。
4. 第23 回熱測定ワークショップ報告「不均一系の熱力学一界面の機能を探る」の報告がなされ，承認された。
5. 第32 回熱測定講習会会計報告（1996 年 7 月8 日-7 月10 日まで）が承認された。
6. 第33 回熱測定講習会準備状況が報告され，ダイレクトメールの宛先などを開拓し，活性化するということで承認された。
7. ICCT96（8 月25 日から8 月30 日，豊中市）の開催結果（参加者575 名，発表論文529 件）が報告された。
8. ICCT96 における日本熱測定学会パネル関係会計報告がなされ，企画幹事と関係各位の協力で非常に立派なものが完成した。今後開催される熱測定討論会場にブースを設け，展示することが承認された。
9. 編集委員会報告 第23 巻4 号の締め切りが9 月末であること。第23 巻は5 号を名簿として発行すること。ただし予算との関係で内容を集約変更することとした。
10. 庶務幹事会作成の1997 年度委員選挙開票結果に基づき審議され，幹事会で推薦された19 名を当選とした。（総投票数39）また他に投票された溝口忠人氏（山口大・工）も当選とした。今後投票数確保への啓蒙と最低得票

数を検討する必要があることが確認された。

11. 第23 回通常総会議題について

- a 1996 年度事業報告について庶務幹事から提出された資料（案）について審議し，一部加筆訂正された。
 - b 1996 年度決算報告について会計幹事から提出された資料（案）について審議し，講習会の収入減が全体の予算に大きな影響を及ぼしていることため赤字決算になることが明らかになった。
 - c 1997 年度事業報告について庶務幹事から提出された資料（案）について審議し，一部加筆訂正された。
 - d 1997 年度決算報告（案）について会計幹事から提出された資料（案）について審議し，収入減（講習会参加者の減少，会費未収金など）を予想して，ワークショップへの補助額などなど，緊縮予算で運営することが了承された。しかしこのままの定常的な赤字予算では数年内に大きな破綻になりかねないことが示された。まずE-mail などを活用し，幹事会の回数を少なくするなど，諸々の経費を節約する方向を検討した。
12. 会則改正案を審議した。大きな会則改正であるので今回は総会で会員に問題を提起することとした。幹事会では改正案をさらに継続審議し，当面は幹事会で改正できる細則の範囲内で対処することとした。
 13. 会費未納者督促状（案）が提案され，一部修正した第一通目と最終通知状を了承した。
 14. 経費節約の観点から検討されていた，会費自動引き落とし制度導入検討に関するメモが会計幹事から提出され検討した。
 15. 日本熱測定学会研究グループ活動に関するアンケート解答結果の集計結果が報告され，新規グループの設立の要求があることが明らかになり関係細則あるいはメモを整備することとした。
 16. 第4 回国際および日中熱測定合同シンポジウムの開催は関東地区とし，現地組織委員長候補を提案し，宿舍等の問題を考慮して，検討を開始して頂くこととした。
 17. ワークショップ会計報告フォーマット（案）が会計幹事より提出され，一部修正了承された。
 18. 第24 回熱測定ワークショップ「温度変調DSC はどこまで進んだか」案内が提出され了承された。
 19. 学術会議協力財団協賛への入会について，予算の問題もあるので庶務幹事会に決定を依頼した。